

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

人が真ん中のしあわせな社会を知恵と技術で拓いていく。ITを駆使して人と情報技術が融合したより良い社会の形成において、なくてはならない確固たる存在となること。

営業利益率
10%以上

売上高
24,968百万円

営業利益
3,077百万円

② 中長期の経営戦略

1. 新規事業の創出

企業の戦略的IT活用ニーズに対応し、新たな付加価値を提供する新規事業を創出。IT技術革新に適応した新規サービスを展開する。

2. 既存事業の高付加価値化

自社の強みを活かしたシステム開発・ITソリューション提供。人材育成、ソフトウェア品質・生産性向上によるSIビジネス強化。

3. 提案型営業の強化

顧客リレーション強化による提案型ソリューション営業の実施。新規顧客開拓と既存顧客深掘を通じた強固な顧客基盤構築。

4. 生産性向上と働き方改革

業務自動化・省力化による利益構造改革と働き方改革の同時推進。生産性の高い組織への転換を実現する。

③ 対処すべき課題

① 新しい事業ポートフォリオ開拓

- ・ 戦略的IT活用ニーズに対応した新規事業を創出
- ・ IT技術革新に適応した新規サービスを展開

② 既存事業の競争力強化

- ・ DX化等における付加価値高いビジネスへのシフト
- ・ 品質と事業展開に合わせたスピード対応を強化
- ・ SIビジネスの強化・拡大による差別化実現

③ 人材確保と技術対応

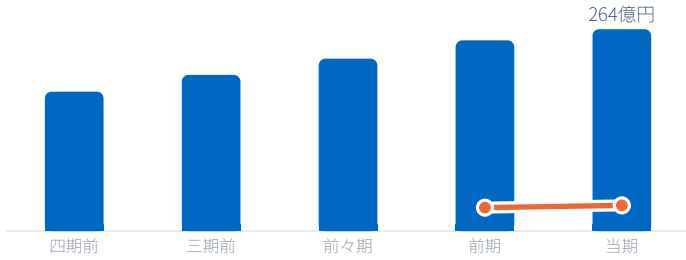
- ・ IT技術者不足が予想される中での育成・採用強化
- ・ ビジネスパートナーとの協力体制強化（コアパートナー制度）
- ・ 研究開発・開発・営業部門の連携による技術革新対応

面接で使えるポイント

- ・ 営業利益率10%以上を継続維持しながら、新しい収益源開拓で企業価値を高める方針。
- ・ IoT・AI・ビッグデータなど先端技術への適応と、DX化領域での信頼されるパートナー確立を戦略。
- ・ IT技術者不足の中で、OJT・研修・キャリア開発による人材育成と、通年での中途採用活動を推進。

証券コード 2349

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
264億円営業利益率
12.8%財務健康度
82点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
593万円

情報・通信業内 421位/592社

平均年齢
38.8歳

情報・通信業内 260位/593社

平均勤続
14.2年

情報・通信業内 45位/593社

女性管理職
3.5%

情報・通信業内 353位/373社

男性育休
89.0%

情報・通信業内 135位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

